

# インドアサッカー 競技規則

## 1、競技者

- (1) チームの選手登録は10名以内とする
- (2) 競技人数は6人で、そのうち1人はゴールキーパーとする
- (3) 選手の交代は各ベンチ前より自由に行うことが出来る。ただし、ピッチに入る競技者はピッチを出る競技者が完全にピッチを出るまでピッチに入ることは出来ない

## 2、競技者の用具

- (1) シューズはポイントのないゴム底の室内用シューズとする
- (2) ゴールキーパーは、危険防止のためキャッチ面等の防具を使用してもよい

## 3、競技時間

- (1) 8分ハーフの前後半戦とする (予定)
- (2) 前半と後半の間に3分間のハーフタイムをとる (予定)
- (3) 競技時間終了時、同点の時はPK戦(サドンデス)で勝敗を決める

## 4、ボール

- (1) ソフトサッカー競技用ボールを使用する

## 5、不正不法行為(反則)

- (1) 反則に対しては反則が行われた時点でフリーキックが与えられる。ただしペナルティーエリア内での守備側の反則に対してはペナルティーマーク上で与えられる
- (2) 反則とは、FIFAの規則に準じる。ただし、オフサイドの反則はなく、スライディングタックル及び激しいチャージを行ってはならない

## 6、フリーキック

- (1) フリーキックの時相手競技者は、ボールから5m以上離れなければならない

## 7、ゴールキーパー

- (1) GKは立ってボールをプレーしてはならない(膝立ちまではよい)
- (2) GKへのバックパスは行ってもよい(ただし遅延行為と思われるプレーは除外する)

## 8、ボールのアウトオブプレー

- (1) ボールがアリーナの壁や天井に触れた場合、またはボールの全ての部分がピッチの外に出たときはアウトオブプレーとなり、スローイン・コーナーキック・ゴールキック等により競技を再開する

## 9、ピッチ

- (1) ピッチはアリーナのメインフロアー全面を使用する(34m×23m)
- (2) タッチラインはアリーナのフロアーサイドの壁とする
- (3) ゴールラインはアリーナのフロアーエンドの壁とする
- (4) ペナルティーエリアは4×8mのエリアとする
- (5) ペナルティーマークはゴール中央から4.5mの地点とする
- (6) コーナーキックは各コーナーのマーク上にボールを静止して行う
- (7) ゴールの大きさは幅2.5m高さ1.25mでGKは座位(膝立ちまで)でプレーする